

0歳から100歳までの教育指針

教育基本計画発表会・記念講演会

0歳から100歳までのすべての年齢層を対象にした教育の指針、三好町教育基本計画の発表会と記念講演会が9月6日、中央公民館で開かれました。発表会では土屋靖江教育長らが計画の趣旨と概要を説明。続いて、名古屋市立大学医学部の戸刈創教授による「子どもの健やかな成長を願って〜子ども心の発達と親の役割〜」と題した記念講演会が行われました。なお計画の目標年次は、2020年で、今後3年ごとに見直しをする予定です。



いつまでもお元気で

安立荘町長一日荘長

特別養護老人ホーム安立荘で9月8日、敬老会が行われ、久野知英町長が一日荘長を務めました。会の初めに町長は、利用者の皆さん80人に「お元気でなによりです。これからも元気で楽しく過ごしてください」と話し掛け、お祝い品を贈呈。利用者を代表して橋本タマエさんは「皆さんに祝福していただけてありがとうございます」と元気に答えていました。その後、町長は利用者の居室を訪問。お年寄り一人ひとりに温かい声を送りました。



中秋の名月を眺めながら

月見茶会

中秋の名月を迎えた9月11日、サンアートふるさと会館で月見茶会が開かれました。これは、秋の月を眺めながら、お茶を楽しんでいたことが毎年行われているもの。会場を訪れたおよそ170人は、月や秋にちなんだ筑紫丸和会による箏曲とみよし音楽座による軽音楽を聴きながら、お抹茶と名月を堪能しました。「素晴らしい庭園と優雅な音楽、おいしいお茶、そして満月がそろった最高の茶会です」と女性の一人は満月を見上げていました。



笑顔ではつらつと

三好町老人娯楽大会

運動不足を解消し、健康維持に役立てようと9月3日、老人娯楽大会が総合体育館で開催されました。町内老人クラブの各支部から280人が参加し、輪投げやフリスビー、囲碁、将棋などのゲームで競われたこの大会。参加者は、笑顔を浮かべながら楽しそうな表情で、ゲームに取り組んでいました。上ヶ池老人クラブの女性の一人は「練習とおりにできなかったのが残念でしたが、皆さんと一緒に楽しんでいますよ」とはつらつと話していました。



スポーツを通して地域貢献

地域連携開放講座

三好高校スポーツ科の生徒による陸上競技の指導が9月9日と10日の2日間、天王小学校で行われました。これは、スポーツについて学んだ知識や経験を地域に還元しようと、昨年実施されている試み。走り幅跳びやリレーなど7種目を高校生21人が、4年生から6年生までの60人に熱心に指導しました。ソフトボール投げを教わった5年生の男子児童は「フォームを直してもらい、前より5mも遠くに投げられるようになりました」とうれしそうでした。



伝統を受け継ぎ技を磨く

郷土芸能伝承発表会

三好町に伝わるおはやしやみこ舞などの伝統芸能を伝承しようと、日ごろから練習に取り組んでいる子どもたちがいます。その活動の成果を発表する郷土芸能伝承発表会が9月13日にサンアートで開かれました。11組、およそ500人が出演して行われたこの発表会。お祭りで演じられる棒の手、三好太鼓などを真剣な表情で披露しました。おはやしを演奏した小学生は「夏休みから一生懸命練習してきました。緊張はしたけど、成果が出せました」と満足そうでした。

